



青森県のナガイモ、ニンニク等の特産野菜を対象に、栽培法改善、  
 新作型開発、施肥改善、新品種開発、優良種苗・種子の生産、  
 病害虫管理技術の開発、技術相談等を行っています。

◎こんな分野に対応しています

- 1 野菜の栽培技術、新作型、施肥技術の開発
- 2 ナガイモ、ニンニク等の特産野菜の新品種開発
- 3 環境にやさしく効果的な病害虫管理技術の開発
- 4 野菜の新農業・生育調節剤の効果確認
- 5 野菜・畑作物の生育情報提供
- 6 ナガイモ、ニンニクの優良種苗の生産・供給
- 7 ソバ、ナタネ等の種子の生産・供給

◎研究部と主な業務

栽培部

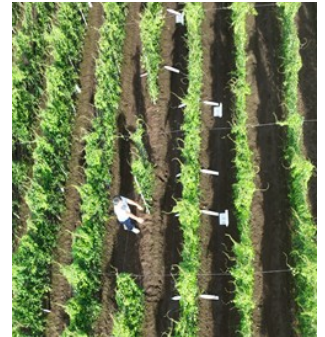
ナガイモ、ニンニク等の特産野菜を高品質かつ安定的に生産するために、慣行の栽培技術や作型等を見直し、新たな栽培技術、作型開発、施肥技術等について研究をしています。

品種開発部

青森県の特産野菜の安定生産を支えるため、地域に適したナガイモ、ニンニク等の品種開発及び野菜の優良種苗や畑作物種子の生産・供給を行っています。

病害虫管理部

病害虫の生態を解明し、環境にやさしく効果的な野菜の病害虫管理技術について研究開発しています。



ドローンによるナガイモ生育量調査の様子



ナガイモ育成品種「夢雪」



イモグサレセンチュウの被害を受けたニンニクリン片とイモグサレセンチュウ

◎所在地とアクセス



〒033-0071 上北郡六戸町大字犬落瀬字柳沢91  
 Tel : 0176-53-7171 Fax : 0176-53-8934



## ◎主な研究成果

### ◆ナガイモの省力栽培技術

【目的】 ナガイモ省力栽培技術の省力効果等を明らかにする。  
 【結果】 広畝栽培、低支柱栽培、全量基肥栽培それぞれにおいて、作業時間が短縮し、総収量及びAB品収量は同等以上を確保した。  
 (令和6年度参考となる研究成果)



広畝栽培で中耕作業を行う幅狭トラクタ



通常栽培(左)と低支柱栽培(右)

### ◆ナガイモ・ニンニクの新品種の開発

【目的】 青森県の特産野菜であるナガイモとニンニクの優良新品種を開発する。  
 【結果】 ナガイモについては、平いものが少なくコンパクトな「夢雪」を育成した。ニンニクについては、大玉でりん片数が少ない「青森福雪」を育成した。



夢雪 園試系6



青森福雪 8 9 2 福地ホワイト 8 9

ナガイモ育成品種「夢雪」 ニンニク育成品種「青森福雪」

### ◆ニンニクマルチ栽培の収穫期間の目安

【目的】 りん片分化期後積算気温を用いて、マルチ種毎の収穫始め及び収穫終わりの目安を明らかにする。  
 【結果】 「白玉王」では透明マルチで800~1000℃、「福地ホワイト」では透明・緑マルチで900~1200℃、黒マルチで1000~1200℃であった。  
 (平成31年度指導参考資料)



黒マルチ栽培(左)と緑マルチ栽培(右)



りん球尻部の水平程度の違い  
 左: 収穫適期、右: 未熟

### ◆ナガイモ・ニンニクの優良種苗の供給

【目的】 青森県の特産野菜であるナガイモとニンニクの優良種苗を増殖し、生産現場へ供給する。  
 【結果】 網室内でウイルスフリー株を増殖し、ナガイモについてはむかごを300kg程度、ニンニクについてはりん球を400kg程度、毎年、県内生産者団体を通じて生産現場に供給している。



網室内のナガイモとむかご



網室内のニンニク

### ◆ニンニクにおける反射マルチを利用したウイルス感染低減効果

【目的】 ニンニクにおける効果的なウイルス病被害軽減技術を開発する。  
 【結果】 反射マルチの利用により、有翅アブラムシ類の飛来を抑制し、ウイルス感染を低減できる。  
 (令和4年度指導参考資料)



ニンニクモザイク病



反射マルチ 透明マルチ  
 (黄色の容器は、アブラムシ捕獲調査用トラップ)

### ◆ニンニクにおけるチューリップサビダニの効果的な防除法

【目的】 チューリップサビダニの、ニンニク植物体内での寄生部位を明らかにし、効果的な防除法を開発する。  
 【結果】 モバントフロアブルを生育期に2回茎葉散布することで、高い防除効果が得られることを確認した。(令和2年度指導参考資料)



チューリップサビダニ



モバントフロアブルの散布時期の例

## ◎その他の試験・研究・調査

### ◆野菜(ナガイモ、ニンニク)の作況試験の生育状況等の調査